

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	市単土地改良事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	土木課		包含する細々目	1	6	1	7	18	1	98,800
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等		市営土地改良事業等の経費の賦課徴収に関する条例				
		事業期間	年度～	年度								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	農業施設で整備が必要な施設 農地及び農業従事者	農家戸数:戸	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度 以前に終了 は終了 年度とする
			5165			
		耕作面積:ha	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			2590			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
維持労力の節減等営農の効率化を図るため、農業施設の改修・補修を行う	実施箇所数:箇所	18目標	321	最終目標		
		18実績		19目標	320	↑ 最終目標 達成年度
		23目標		23実績		
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑ 最終目標 達成年度
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	小規模な農道整備、かんがい排水路等農業施設の整備・補修により、農地の保全を進めるとともに、生産基盤・生産条件の改善を進め、農作業の効率化を図る。 緊急度が高く、投資効果の高い順に整備を進める。また、関係者による地元施工に対して、必要な資材の支給を行う。	18年度の実績 工事施工 用排水路整備 24箇所 農道整備 4箇所 鋼製構造物改修 7箇所 ため池改修 1箇所 道水路補修 170箇所 水路整備業務委託 15箇所 道水路補修用資材支給 100箇所	工事箇所数	321
	19年度計画 工事施工 用排水路整備 農道整備 鋼製構造物改修 ため池改修 道水路補修 水路整備業務委託 道水路補修用資材支給	工事箇所数	320	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	97,589	98,800
	事業費計(A)	97,589	98,800
人件費	正規職員所要時間	18年度 7,200	19年度 7,200
	臨時職員等所要時間	126	126
	人件費計(B)	25,883	25,883
	トータルコストA+B	123,472	124,683

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	荷痛みの解消、営農の合理化による増収が図れ、荒廃・遊休農地の増加が抑制される 出荷額を高める活動をする	既存農業者の産出額(農業):億円	現状値	121	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	139.1
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ 営農の安定を図るため、荷痛みの防止や排水不良等の解消、用水の安定確保など、維持管理労力の削減及び生産性の向上を目的に開始	事業を取り巻く状況の変化 過疎化や農家の高齢化等の進展、若者の農業離れにより、荒廃・遊休農地が著しく増加し、農業用施設 の荒廃が一層進んできている。	事業に対する市民や議会の意見 過疎化や農家の高齢化等の進展により、農業用施設 の保全管理が困難になり、老朽化が一層進み、地区 からの要望が年々増加している。
---	--	---

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 農業施設が改良されることにより、営農が安定する	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 維持労力の節減等、営農の効率化に結びつくよう、事業の計画及び実施を行う
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がある (その理由) 市全域の農業施設が対象であるが、地区からの要望を調査し、事業必要箇所を精査する		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 農業従事者の高齢化が進んでいるため、営農の効率化が図れなくなり、農地の流動化も進まず、荒廃農地が増大する。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 維持労力の節減等営農の効率化を図るためには、農業施設の改修・補修が必要である		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 統合不可能 (類似事業名、理由) 非補助土地改良事業・県営あるいは団体営土地改良事業 他の事業の採択要綱等(農振区域内に限る・事業規模等) にかなわない箇所や小規模なもの、緊急に取り組みなければならぬ必要があるものが対象となる
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 市管理施設の整備・補修である		効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 可能 (その理由) 工法等を見直し、コストの縮減を図る 資材支給(地元施工)を進める
	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 受益者が特定できているため池の整備のみ受益者負担	公平性 評価	

### 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	実施年度 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 事業実施箇所の選択において、他事業との調整を行う。 地元施工が可能な小規模な箇所については、資材支給で行ってもらよう調整する。 事業実施においては、工法等を十分検討し、コストを縮減する。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法		地元施工の場合の施工不良。 地元施工労力の確保が難しくなっている。

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	